

- 問1 熊本県にある阿蘇山の周辺で見られる、噴火によって形成された広大な窪地（カルデラ）の地形的特徴と、そこでの人々の暮らしに関する説明として最も適切なものはどれか。（2024年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. カルデラは水はけが良すぎるため、シラス台地としてサツマイモの栽培が中心となっている。 | 2. カルデラ内の石灰岩が雨水で溶食されたことで、カルスト台地と呼ばれる独特の景観が広がっている。 | 3. カルデラの中には広大な草原が広がっており、肉用牛の放牧などが盛んに行われている。 | 4. カルデラの急斜面を利用して、段々畑でのみかんやレモンなどの果樹栽培が盛んである。 |
|---|---|---|---|
- 問2 九州地方の中央部に位置する阿蘇山において、その山頂付近に広大なくぼ地が存在する地形的特徴について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 火山灰などの噴出物が広範囲に堆積し、水はけの悪い平坦な台地となったものである。 | 2. 火山の噴火によってマグマが噴出した後、地表面が陥没してできたものである。 | 3. 山地の間にある平地が、断層の活動や周囲の隆起によって周囲を山に囲まれたものである。 | 4. 川の流れによって運ばれた土砂が、山のふもとに堆積して形成されたものである。 |
|--|---|--|--|
- 問3 九州地方の東側から本州の太平洋岸を通過し、東北地方の沖合で親潮（千島海流）とぶつかる海流の名称と性質の組み合わせとして、適切なものを選びなさい。（2019年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------|-----------------|-----------------|--------------|
| 1. リマン海流 ― 寒流 | 2. 黒潮（日本海流）― 暖流 | 3. 親潮（千島海流）― 寒流 | 4. 対馬海流 ― 暖流 |
|---------------|-----------------|-----------------|--------------|
- 問4 日本の気候区分において、冬の降水量（降雪量）が他の時期に比べて多くなる地域があります。この気候の特色をもたらす要因について述べた文として、最も適切なものを選択してください。（2024年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 一年を通じて吹く偏西風が、大陸からの乾燥した冷たい空気を運び、山脈を越える際に雪を降らせるため。 | 2. 冬にシベリア大陸から吹く北西の季節風が、日本海を渡る際に水分を蓄え、山脈にぶつかって上昇するため。 | 3. 冬に太平洋から吹く南東の季節風が、湿った空気を運び、沿岸部の平野に大量の雨を降らせるため。 | 4. 夏に小笠原気団から吹き出す高温多湿な季節風が、日本海側の山地で上昇気流を発生させるため。 |
|---|--|--|---|
- 問5 ある都市の気候統計において、1月の平均気温が6.7度、8月の平均気温が27.0度、8月の降水量が250.9mmという数値を示しました。このような特徴を持つ太平洋側の都市の気候について述べた文として、正しいものはどれですか。（2016年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 冬は北西からの湿った季節風の影響で雪や雨が多くなるが、夏は山を越えて吹き下ろす乾いた風の影響で降水量が極端に少なくなる。 | 2. 海から遠く離れた盆地に位置しているため、夏は非常に高温になるが、冬は氷点下まで気温が下がり、1年を通じて降水量は少ない。 | 3. 年間を通じて平均気温が高く、季節による気温の変化が小さいため、夏と冬の降水量の差もほとんど見られない。 | 4. 夏は小笠原高気圧から吹き出す季節風や台風の影響で降水量が多くなり、冬は北西の季節風が山地でさえぎられるため、乾燥した晴天の日が多い。 |
|---|---|--|---|
- 問6 川の流出部付近に形成された扇状地において、標高が高い場所に位置するX地区と、そこから川の下流側に位置する標高が低いY地区の2つがあります。これらの地区における地形と土地利用の関係についての説明として、最も適切なものを1つ選びなさい。（2025年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. X地区は標高が高く水が得やすいため水田が多く見られ、Y地区は標高が低く水はけが良いため果樹園が多く見られる。 | 2. X地区は標高が高く水はけが良いため果樹園が多く見られ、Y地区は標高が低く水が得やすいため水田が多く見られる。 | 3. X地区は標高が低く水が得やすいため果樹園が多く見られ、Y地区は標高が高く水はけが良いため水田が多く見られる。 | 4. X地区は標高が低く水はけが良いため水田が多く見られ、Y地区は標高が高く水が得やすいため果樹園が多く見られる。 |
|---|---|---|---|
- 問7 大阪市などの瀬戸内海沿岸に見られる気候の統計的な特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2017年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 最暖月と最寒月の気温差が非常に大きく、夏に降水量が集中する一方で冬は極端に乾燥する | 2. 冬の季節風の影響を強く受けて降水量が多くなり、夏はフェーン現象によって高温乾燥が続く | 3. 年間を通じて温暖であり、月降水量が多く、月で150ミリメートルを下回る安定した少雨傾向を示す | 4. 黒潮（日本海流）の影響を直接受けるため、夏から秋にかけての降水量が極めて多い |
|--|---|---|---|
- 問8 都市の中心部の気温が周辺部に比べて高くなる「ヒートアイランド現象」が発生する主な原因として、最も適切な説明を選びなさい。（2020年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 都市部における人口の集中により、大規模な森林伐採が行われたことで光合成が減少し、大気中の酸素濃度が低下して熱がこもりやすくなるため。 | 2. 地表の多くがアスファルトやコンクリートで覆われて熱が蓄積されやすくなり、さらに建物からの排熱やビルの密集による風通しの悪化が重なるため。 | 3. 工場や自動車から排出された窒素酸化物が雨に溶け込み、強い酸性を示す雨が降ることで都市部の地表温度に影響を与えるため。 | 4. 二酸化炭素などの温室効果ガスが都市部の上空に滞留し、太陽からの熱が宇宙へ逃げにくくなることで地球全体の平均気温が上昇するため。 |
|---|---|---|--|
- 問9 日本の気候区分において、冬（1月や12月）の降水量が夏よりも多くなり、雪が多く降る特徴を持つ地域はどこですか。（2021年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|------------|-----------|------------|
| 1. 日本海側の気候 | 2. 太平洋側の気候 | 3. 瀬戸内の気候 | 4. 中央高地の気候 |
|------------|------------|-----------|------------|
- 問10 地形図上の情報から土地の状況を読み取る記述として、等高線の間隔が狭い場所の性質と、そこに多く見られる植生の関係を正しく説明しているものはどれですか。（2024年 鳥取県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 標高が低く冠水しやすい土地であり、湿気を好む広葉樹の原生林が広がっている | 2. 傾斜が急な地形であり、スギやヒノキなどの針葉樹の林として利用されることが多い | 3. 傾斜が緩やかな地形であり、日当たりの良さを利用した広葉樹の果樹園に適している | 4. 河川の堆積作用でできた平坦な土地であり、水はけが良いため針葉樹が植えられている |
|---|---|---|--|
- 問11 静岡県などに見られる太平洋側の気候において、雨温図上で夏の降水量が多くなる主な要因は何ですか。（2021年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------------|-------------------------|----------------------|---------------------|
| 1. 冬に北西から吹く湿った季節風の影響 | 2. シベリア高気圧から吹き出す冷たい風の影響 | 3. 夏に南東から吹く湿った季節風の影響 | 4. 年間を通じて吹く強い偏西風の影響 |
|----------------------|-------------------------|----------------------|---------------------|
- 問12 2万5千分の1の地形図において、海岸沿いに鉄道や集落、学校が位置する平地があり、その内陸側には等高線が密に描かれた標高80メートルを超える山地が控えている地域があります。このような場所で、巨大地震による津波被害を軽減するために設置される「津波避難タワー」の役割と設置条件の説明として、最も適切なものはどれですか。（2025年 島根県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 地形図上で等高線が密に描かれている標高の高い山地において、浸水域を一望し、救助活動の指示を出すために設置される監視塔である。 | 2. 海水の浸入を物理的に遮断することを目的として、海岸線に沿って連続的に設置される、コンクリート製の巨大な防潮堤の一種である。 | 3. 津波の危険がある沿岸部において、近くに高台がない低地や、避難場所への移動に時間を要する地域に設置される緊急の一時避難施設である。 | 4. 土砂災害の危険がある山間部の集落において、斜面崩落から住民を保護し、長期間の避難生活を送るために設置される堅牢な宿泊施設である。 |
|---|--|---|---|